

地方自治体におけるA I・ロボティクスの活用に関する  
今後の議論の進め方について（案）

「地方自治体におけるA I・ロボティクスの活用」は、様々な角度から議論が可能だが、本研究会としては、以下の切り口から議論してはどうか。

- まずは、2019年の地方自治の実務とA I・ロボティクス利活用の現状をミクロに見て、導入を推進すべき事務・分野を整理してはどうか。  
（導入を推進すべき事務・分野の例）
  - ・自治体取り組みやすい部分（例：音声認識やチャットボットによる応答の導入）
  - ・自治体行政の課題を抱える部分（例：業務量が多い等）
  
- その上で、現在の技術水準で実現可能な活用方策と、将来の技術発展を見据えて、2040年頃までに目指すべき姿を議論してはどうか。
  
- さらに、2019年の地方自治の実務とA I・ロボティクス利活用の現状と2040年頃までに目指すべき姿を踏まえ、地方自治体におけるA I・ロボティクスの活用に向けたマクロの普及方策と考え方を検討してはどうか。  
（普及方策の例）
  - ・共同導入の方策
  - ・人材育成の方策
  
- また、以下の個別論点を検討してはどうか。
  - ・A I・ロボティクス利活用の効果
  - ・制度上の論点（例：セキュリティや個人情報保護の課題）